

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター

しぜんきょういくな

自然教育園だより

Vol.2 No.4

(2009年冬号)

2009年12月25日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

▶ 自然教育園での出来事

(2009年9月～11月) ◀

天神島臨海自然教育園

去る10月8日に本州に上陸した台風18号は、相模湾沿岸に大きな被害をもたらしました。天神島とその周辺も例外ではなく、地元の人たちも経験のないくらい大きな波が押し寄せました。今号では台風直後の様子の特集します。



天神島の海岸。普段（左上）とは比べ物にならない大きさの波が押し寄せました（右上）



波は管理棟を越えて道路まで達し（上）、周辺は道具や漂着物が散乱しました（下）



倒壊した柵（上）



波で数本が倒されたハマボウ（上）

波で根がはがされたハマゴウ（下）



ビジターセンター裏手の浜では、多くの植物が流されました（上）

波で運ばれた石がぶつかってゆがんだフェンス（左）



9月1日 潮溜まりで死滅回遊魚のオヤビッチャ、シマスズメダイ、ギンユゴイなどの幼魚を確認した。

9月5日 キアシシギ、チュウシャクシギの幼鳥を確認した。

9月6日 オオタカ幼鳥が森の中からムクドリを追って飛び出してきたが、狩りに失敗して飛び去った。海上で魚を探しているミサゴを確認した。

9月11日 イソヒヨドリがさえざりながら飛んでいた。ハマオモトヨトウの産卵を確認した。

9月18日 冬羽のキョウジョシギ5羽とミユビシギ2羽が砂浜に打ち上がった海藻のあたりで食べ物を探していた。

9月20日 日没間際にゴイサギ11羽の飛翔を確認した。

9月26日 今シーズン初めてモズの姿を確認した。笠島に飛んできたセイタカシギも今シーズン初確認した。

10月1日 多数のアキアカネが飛来し、潮だまりで産卵していた。水たまりでハイイロチビゲンゴロウを確認した。



飛来したアキアカネ (10/1)



台風で流され、約50日ぶりに打ち上がったカメラ (11/15)

10月2日 今年の夏に生まれたアオウミウシとムカデミノウミウシを確認した。アメフラシも多数育っていた。

10月4日 南に渡るアマツバメとハチクマを上空に確認した。

10月8日 台風18号による高波がきた（上の特集を参照）。

10月9日 開けた場所でアブラコウモリの飛翔を確認した。

10月11日 内陸部を渡っていくサシバ5羽を確認した。

10月18日 スズメのねぐら入りをカウント。16:30から25分間の間に、1200羽以上が森の中に入っていった。
 10月22日 カワセミのオスとメスが並んでとまっていた。
 10月25日 ハマユウが季節はずれのつぼみを出していた。
 10月29日 アオジ、ユリカモメをそれぞれ今シーズン初めて確認した。
 10月30日 直径が1m弱のエチゼンクラゲが打ち上がった。ジョウビタキが渡ってきた。
 11月1日 500羽以上のユリカモメの群れが低空を北に向かって飛び去っていった。

11月5日 ウミスズメ2羽を今シーズン初めて確認した。
 11月6日 ウミアイサ2羽を今シーズン初確認した。まだエクリプス(オスで繁殖期後一時的に表れる羽色)だった。
 11月14日 ウミウ1羽を今シーズン初めて確認した。
 11月15日 10m以上の西風が吹き海が荒れた。波で流されたカメラが、約50日ぶりに同じ場所へ打ち上がった。
 11月20日 ツグミが渡ってきた。
 11月22日 オオキンカメムシがツルオオバマサキとシロダモの葉裏に合計で11匹休んでいた。

▶ 自然教育園での出来事

(2009年9月～11月) ◀

馬堀自然教育園

9月1日 昨日の台風でコナラのドングリが青いままたくさん落ちていた。ヤブガラシの花にアオスジアゲハ、イチモンジセセリ、ヤマトシジミが吸蜜していた。サトキマダラヒカゲを見た。ヤブラン、イヌトウバナ、ヌスビトハギが咲いていた。ヌスビトハギには果実もついていた。
 9月4日 キツネノマゴやゲンノショウコが咲いていた。
 9月8日 シラカシの幹にヒナカマキリがいた。ヤブガラシの花にクマバチ、イチモンジセセリが来ていた。下の池にオオシオカラトンボが飛来していた。
 9月10日 上の池でオオシオカラトンボとヤブヤンマの幼虫を確認した。ヤブヤンマの成虫が飛んでいた。
 9月11日 学習棟の壁にヤモリの子どもがはりついていた。
 9月13日 朝、門柱の根元に甲幅約7cmのモクスガニがうずくまっていた。タラノキの花にナガサキアゲハなど多くの虫たちが集まっていた。下の池でムラサキシジミを見た。
 9月16日 下の池のオニグルミにアオゲラが来ていた。
 9月19日 下の池近くの地面をノコギリクワガタが歩いていた。キアゲハが飛んでいた。
 9月23日 園路でヤマアカガエルを見た。マテバシイやコナラのドングリがたくさん落ちていた。アケビの熟した実が落ちていた。
 9月26日 ヤブマメ、イヌタデが咲いていた。オオハナワラビの孢子葉が出ていた。園路でホタルガを見た。
 9月29日 学習棟玄関の天井にハラビロカマキリの卵のうがあった。3日前に同じ場所で見かけたメスが産んだようだ。ノコンギクやカントウカンアオイが咲いていた。
 10月2日 上の池近くの水路にサワガニがいた。
 10月7日 クロヤツシロランやムラサキシキブに実がなっていた。
 10月8日 晴れたが台風の影響で強風だった。アキアカネが飛んでいた。キクラゲとノウタケを確認した。
 10月14日 ツチイナゴがいた。アブラゼミがマテバシイにとまっていた。モンシロドクガの幼虫を確認した。
 10月16日 クロヤツシロランが果実から種子を飛ばしていた。オオハナワラビの孢子が熟していた。ゲンノショウコ



モンシロドクガ幼虫 (10/14)



アブラゼミ (10/14)



ハラビロカマキリの産卵 (11/17)



ムラサキツバメ (11/17)

の果実がはじけていた。エナガが梢を渡っていた。
 10月17日 下の池にアライグマと思われる足跡があった。
 10月18日 タラノキの実が熟して黒紫色になっていた。センリョウの実が赤く色づいていた。
 10月22日 ツクバトリカブトやツワブキの花が咲いていた。カラスウリの実が真っ赤に熟していた。
 10月27日 前夜の嵐でクロガネモチの赤い実がたくさん落ちていた。ヤツデの花が咲いていた。水路沿いの園路にキセキレイが飛来していた。アオゲラの鳴き声が聞こえた。
 10月31日 ケヤキの葉が黄色くなった。ハゼノキの葉も色づいてきた。コウヤボウキが開花。メジロがヒサカキの実を食べていた。学習棟前の植込みにオオカマキリがいた。
 11月5日 アオサギが下の池に来ていた。
 11月6日 ヒヨドリの群れがタラノキの実やムラサキシキブの実をついばんでいた。
 11月8日 下の池のオニグルミにタイワンリスが来ていた。
 11月10日 シロダモやキツタが咲いていた。上の池でイモリの求愛行動が見られた。
 11月17日 カワセミが下の池に飛来してエサをとっていた。
 11月20日 ジョロウグモの姿を見かけなくなった。下の池

にコサギが飛来した。園路でアオジを見た。

11月21日 上の広場でシロハラを見た。テイカカズラの種子が落ちていた。ムラサキシメジがたくさん出ていた。

11月27日 中学校側の園路の倒木にエノキタケとキクラゲ

が生えていた。

11月29日 尾根のスダジイにアオゲラがいた。黄色くなったエノキの葉が散っていた。モチノキの赤い実が尾根の道にたくさん落ちていた。

▶ 展示関連コラム ◀ 空から見た天神島と笠島

企画展示「空から見た三浦半島」から

三浦半島の海岸には、過去1万年間に作られた海食台や波食棚が発達しています。これらの地形は波によって岩盤が平らに侵食され、その後の土地の隆起や海面の低下によって陸上に出てきたものです。このため三浦半島の基盤岩である新第三紀層(2,380～260万年前)が海岸に露出し、城ヶ島や、荒崎、立石、天神島などは三浦半島の景勝地となっています。

このような地形や地層は陸上からでも観察できますが、空中から見ると新しい発見ができることがあります。今回はおよそ150mの上空から撮影された天神島と笠島の写真をご紹介します。

天神島や笠島を上空から見ると、地層の縞模様が見えます(写真1、2)。天神島や笠島を作っている地層は、およそ1,200万年前から500万年前に海底で堆積した三浦層群三崎層で、火山灰や火山礫など、火山から噴出されたものを多く含んでいます。地層の縞模様は北西-南東方向(写真1の左下-右上)に伸びており、このような地層の水平方向への伸びを走向といいます。また、天神島の地層は南西方向に40度程度傾いていますので、天神島の南西(写真1の右下)ほど上側の新しい地層が露出していることになります。天神島の空中写真を見ると、南北方向(写真1の右下-左上)に岩場

の割れ目があり、地層の縞模様が食い違っているところがあります。これが断層です。また、天神島と笠島の間の海中にも大きな割れ目があり、砂が堆積しています(写真2)。この割れ目も断層と考えられますが、火山豆石(火山灰が噴煙の中で球状に固結したもの)を含む地層が天神島から笠島まで追跡できることから、ずれの量はあまり大きくありません。

今回紹介した写真は、PPG 湘南平塚と三浦半島活断層調査会が2009年3月に撮影したもので、現在開催中の企画展示「空から見た三浦半島」で展示されています(2010年1月10日(日)まで)。 (柴田記)



写真1. 天神島の空中写真。写真左上が北方向。
(撮影：PPG 湘南平塚・三浦半島活断層調査会)



写真2. 天神島と笠島の空中写真。写真左上が北方向。
(撮影：PPG 湘南平塚・三浦半島活断層調査会)

▶ 自然教育園イベント紹介 ◀

— 天神島ミニ企画展示 —

天神島ビジターセンター1階の展示ケースにて展示。

1. ビーチコーミングの楽しみ方

海で漂着物を観察することは、海の自然や人の関わりなどについて知るきっかけになります。天神島における漂着物や、漂着物の楽しみ方をご紹介します。2010年3/28(日)まで。

博物館行事レポート

自然観察会「森の散歩と昆虫クラフト」

(10月4日・参加者9名)

園路にそって秋の雰囲気を感じながら歩く「森の散歩」と、昆虫を題材にした工作体験「昆虫クラフト」をテーマにした自然観察会を、馬堀自然教育園で開催しました。

「昆虫クラフト」は教育園の中でひろった枝や葉、実などを組み合わせ、昆虫の特徴をもった形をつくります。そこで、午前中の「森の散歩」は工作の材料を探しながら園路を散策しました。「これは触角に使おう」、「エノコログサの穂が毛虫に見えてきた」など、少し変わった視点で散歩を楽しみました。

ひろった材料を水洗いし、乾かしている間に昼食をすませ、午後は学習棟で工作をしました。枝の曲がり



カブトムシ。がっしりとした力作です

具合や葉の色など材料そのものの味わいを生かし、体や足などに見たて、接着剤でくっつけました。「どうしてもカブトムシを作ってみたかった」人や「この枝をカマキリの前足にしたかった」人など、使った材料も、作った昆虫も、選んだ理由も人それぞれ。学芸員が昆虫の体について解説し、「どうしても昆虫らしく見えるのか」を、学習棟に置いてある標本や図鑑を見ながら、一人ひとり考えて作りました。一人2～4匹ずつ作ったのは、最後に全員の作品を並べたときには、その多様性に驚き、またそれぞれのユニークさに自然と笑いがおこりました。(内船記)



ナナフシ。もともと枝にそっくりな虫なので、枝で作ってみたそうです

博物館教室「森と草原を育てよう」

(11月12日・参加者9名)

この行事は、博物館付属である馬堀及び天神島自然教育園の草木の手

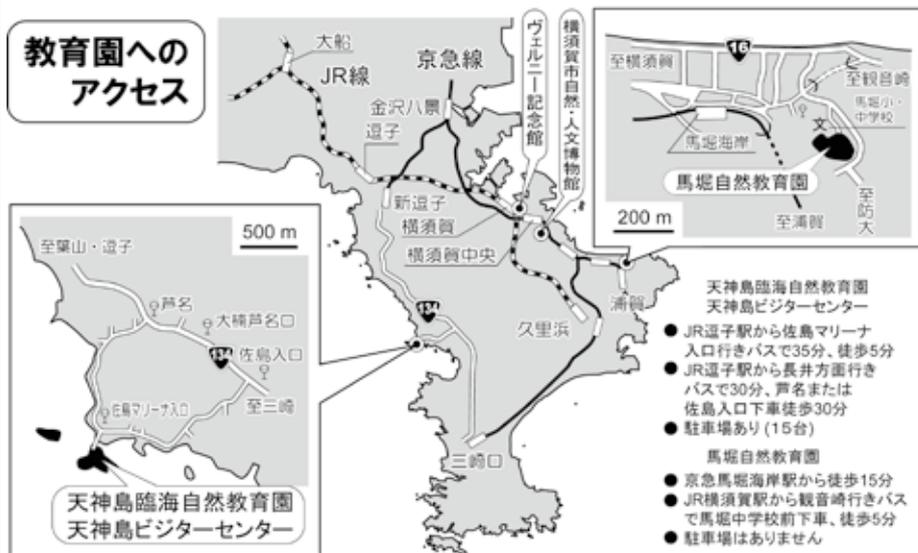
入れや清掃活動を通じて、三浦半島の自然保全を考える目的で2003年から始められ、8月と1月を除く毎月1回2時間半の調査や作業を行っています。これまでに、馬堀では観察路に沿った約300本の樹木調査や、園内の植生の多様性を維持するために、アズマネザサやシュロ、外来植物のトキワツユクサの除去などを行い、天神島では天然記念物ハマユウの自生地の手入れ、笠島の清掃などを行ってきました。2009年11月12日には、10月の台風などで打ち上げられ島内に散らばったペットボトルや発泡スチロールなどのゴミの回収と、分別をしました。こうした市民との協働事業は、雑木林や自然海岸の美しさ、動植物の多様性を支え、管理する博物館職員の励みともなっています。(大森記)



一回の海岸清掃・分別でこれだけの量のゴミが集まりました

横須賀市自然・人文博物館 付属自然教育園

教育園へのアクセス



馬堀自然教育園

〒239-0802

横須賀市馬堀町 4-10-3

TEL 046-841-5727

天神島臨海自然教育園

(ビジターセンター)

〒240-0103

横須賀市佐島 3-7-3

TEL 046-856-0717

博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台 95

TEL 046-824-3688

FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始

開館・開園時間 9:00-17:00

(自然教育園 10～3月は16:30まで)

博物館ホームページでも、「自然教育園だより」をご覧ください！

(<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>)